

秋岡（倉敷商）初制覇 陸上女子走り高跳び



34で、同種目初の3連覇を達成した。200cmの男子は清水空跳（石川・星稜）が20秒39（追い風2・7cm）で優勝し、短距離2冠に輝いた。女子はバロゲン・ハル（千葉・市川）が追い風参考の23秒36で制した。レスリングの男子団体は自由ヶ丘学園（東京）が優勝した。

種目	優勝者	所属	記録
陸上	バロゲン・ハル	千葉・市川	23秒36
走り高跳び	清水空跳	石川・星稜	20秒39
男子	菊池晴太	岩手・盛岡四	1分49秒11
女子	徳山博貴	兵庫・市西宮	8分53秒04
男子	磯山福太郎	兵庫・西宮東	15分74秒



陸上女子走り高跳びを1m70で制した秋岡里緒（今中雄樹撮影）

中学時代は「楽しんで」快拳 ソフトテニス部

陸上女子走り高跳び決勝は1m70に進んだ5人中4人が脱落。最後の1人となり、クリアすれば日本一という状況でも秋岡の心は揺れなかった。「勝ちたいじゃなく、跳びたいと思った」。いつも通り、踏み切りまでのイメージを固めてから迷いなく助走に入る。マット上で成功を確認しても表情は変わらなかった。

「うれしかったけど、勝ったばかりが大きかった」と率直に明かす。暑さ対策で競技終了が通常の3回連続失敗から2回に短縮された中、自身も予選で敗退の危機に2度追い込まれたが「乗り越え、決勝は自分らしく楽しめたと思う」。高梁・成羽中時代はソフトテニス部。いわゆる「素人」の快拳の背景には、強豪校にはない伸び伸びとした環境がある。「試合は自己表現の場」と言う難波監督は他者との競争より、自身のパフォーマンスに集中するよう指導してきた。

広島入り後も宮島を訪れるなど自然体で調整してきたという秋岡。「陸上を楽しみながら、記録を伸ばしたい」。令和の時代を象徴する18歳が、チーム史上初のインターハイタイトルをもたらした。（稲垣心也）

い風参考 【女子】
▽200cm ①バロゲン・ハル（千葉・市川）23秒36 ②松本（広島・広島皆実）23秒
▽800m ①久保凜（大阪・東大阪大敬愛）2分2秒
▽3000m ①ジャネット・ジェプロコエチ（岡山・倉敷）8分48秒23
▽走り高跳び ①秋岡里緒（岡山・倉敷商）1m70
▽棒高跳び ①中村心葵（奈良・王寺工）3m85
▽やり投げ ①鈴木彩夏（大阪・大田大浪商）50m84
▽七種競技 ①江口美玲（神奈川・東海大相模）53点
23点（100m障害14秒02、走り高跳び1m65、砲丸投げ10m94、200m24秒56、走り幅跳び5m79、やり投げ31m73、800m2分26秒48）

陸上女子3000mで優勝し、2年連続2冠を達成したジャネット・ジェプロコエチ
栄誉に浴したジェプロコエチは「目指したのは1番だけ。うれしい」とこの夏、2度目のスマイルを輝かせた。序盤から先頭に立つのは見慣れた光景だが、この



陸上女子3000mで優勝し、2年連続2冠を達成したジャネット・ジェプロコエチ